

第5次小金井市生涯学習推進計画(案)の意見及び検討結果について

意見募集期間：令和7年12月5日から令和8年1月13日まで

意見提出数：3人、12件

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
1	全体	<p>【計画全般について】「社会教育」の策定は「成人教育」の推進が中核になりますが、この素案では「社会教育」と「学校教育」の関係、とりわけ前者が後者を支援する視点多く、肝心の「成人教育」を本市運営の現状に適した体制作りという視点多くありません。子どもの成長支援と高齢者への福祉への言及中心に終わらず、生産年齢層に対して市政へ積極的参加する知識と現代に必要な技能(※)を養う機会の提供の視点を充実させた「生涯学習計画」にしてください。(※：有効なAI利用、欺罔されない情報リテラシーが学校教育でも学ぶ不可欠な技能です。)この点は当市の公民館運営審議会の討議の中でも「公民館内での市民の活動の多くが『習い事』であるがよいのか」という見直しの指摘がされています。学習の成果を「生かす」という基本理念に照らしてこの議論を深め、「成人教育」の視点でのこの生涯学習計画に追記していただきたいものです。</p>	<p>P25に記載のとおり、働く世代や子育て世代については、興味があっても情報や時間の制約があり、学びの場に参加する機会を得ることが難しいと認識しており、「リカレント教育」をはじめ大人の学び直し等を推進してまいります。</p>
2	全体	<p>【リスクリングとリカレント】この素案中の随所で「リカレント」の語が使われている反面、最近重視されている「リスクリング」への言及がない。国レベルでの社会教育の議論でも重要な観点とされているため、両者の相違を的確に理解し説明しつつぜひ施策の中に反映させてほしい。</p>	<p>素案の中における「リカレント教育」については、人生100年時代における社会人の学び直しという意味で使用している一方、「リスクリング」については、職業上新たに求められるスキルを修得するという意味で使用しており、両者は、明確に区別して使用しております。</p>

3	全体	<p>【文中語句の解説】この素案中に出てくる用語のうち専門性の高い語句及び重要な語句について巻末に「用語解説」としてまとめ、当計画の文脈に沿って解説してください。例えば、1頁にある「VUCA」「ウェルビーイング」「社会的包摂」「デジタルディバイド」「つながりの希薄化」を始め、「知の循環」「多様なライフステージ」「ネットリテラシー」「創発」等は日常語あるいは日常の用法とは言えない用語です。この計画の文脈に応じて具体的に、またそれらについてこの素案の作成に携わった市の関係者の皆様方が確認し理解を一致させた上で、語句の解説を提示してください。というのも、前回の第4次計画64頁の「用語解説」では、わざわざ解説する必要もない一般的な用語（「郷土芸能」「NPO」「SNS」等）にごく一般的な説明をしている一方、肝心のキーワード（「小金井らしさ」、「ネットワークづくり」、（地域に対する意味での）「まち」等）は何ら解説がなく、計画書の的確な理解が出来ていない状態でした。さらに中学レベルの知識に照らして誤っている説明（「グローバル化」）や和訳しただけの説明（「ICT」）さえあり、市民として読むに堪えない内容でした。今回は適切で正確な記載を行ってください。</p>	<p>文中語句については、巻末に用語解説を予定しており、必要に応じて、用語の説明をする予定です。</p>
4	全体	<p>【文意不明の記載修正】一読して適切に理解することが出来ない文章や語句になっている箇所が重要な項目でも見られます。修正や補足し書き換えを行ってください。また、この視点で全文を関係者全員で精査いただき、計画公表後に読まされる市民が困難しないように配慮願います。多々あるうち4つだけ例示します。22頁「居場所等への社会参加」←「居場所等」にいること自体を社会参加と見做すのですか?? 25頁「豊かな自然環境が残るなど学びの基盤が充実」←一義的に自然環境を学習基盤に直結させてしまうのは無理があります。説明不足です。「など」で誤魔化さないように。（小金井市は自然は良いが学校トイレは汚いと生徒が言ってましたね。）33頁の「環境に対する学びの場」の「環境」と34頁の「刺激を受けられる環境を整え」の環境←紛らわし使い方は避けるべきでしょう。混乱するだけ</p>	<p>素案における文章や語句については、適切な表現と認識しており、指摘の点については、ご意見として承ります。</p>

		です。37頁「ICT」を「孤立しない学び」	
5	P 5 2章の1 生涯学習の推進をめぐる近年の動向	【SDGsについて】数年来周知のように国連はSDGsの2030年目標達成に悲観的でありアプローチの見直しが進められているのであるから、素案5頁のように「SDGsの考え方を取り入れており」という従来のままの記述では不十分であろう。成人教育に関するユネスコのマラケシュ行動枠組みも参考にしつつ、有識者に意見を求め、見直されたSDGsへの取り組みを参考にして第5次計画に適切に反映させて欲しい。	SDGsについては、市の最上位計画である第5次基本構想・後期基本計画に記載があるとおり、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目標とするものです。生涯学習推進計画についても、取り入れるべき考え方であり、本計画においても、SDGsについて触れているところです。なお、成人教育に関するユネスコのマラケシュ行動枠組みの趣旨（SDGsにかかる部分）については、すでに素案に盛り込まれています。
6	P 8 2章の2 児童生徒へのアンケート調査	【アンケート結果の分析評価について】8頁からのアンケート調査の記載は単に結果数値の説明になっていますが、おのおのに適切な分析評価を加えて課題事項を浮かび上がらせて下さい。例えば、10頁の④では小学5年生は地域の大人が関わることに「抵抗がある」+「少し抵抗がある」の比率が約2割と高くなっていることから大人の関与が容易には出来ず、生涯学習ひいては社会教育の在り方への検討に影響するでしょう	アンケート調査については、生涯学習における児童・生徒の考え方等の傾向を把握する目的で公表しているものです。各項目ごとの課題について把握した上、生涯学習の推進に活かしてまいります。
7	P 17 2章の3 地域と共につくる生涯学習	地域でつくる生涯学習をより効果的なものとするため、学校施設の空調環境の整備を強く要望します。現在、多くの教室でエアコンが設置されていますが、地域活動の場ともなる部室、体育館や余裕教室、特別教室など、学校施設全体の空調整備を早期に完了させ、子どもたちが年間を通じて、また地域の方々が活動しやすい快適で健康的な環境を提供すべきです。また、設置後の定期的な点検・清掃と、省エネに配慮した適切な温度管理の運用ルールを徹底し、市民共有の財産としての学校施設の学習環境の質を高めること	学校施設における空調設備の整備については、いただいた意見を担当部署と共有します。

		を求めます。	
8	P 1 7 2章の3 地域と共につくる生涯学習	【現状の課題の追記】17頁の「2.地域と共につくる生涯学習」の頁で、地域の諸活動の担い手が見つからず減少しつつあるという深刻な現状課題に触れてはどうか。そして、その状況変化について悪化か改善か毎年評価すべきではないか。	P 2 9に記載のとおり、地域の担い手不足について認識しており、いただいた意見のとおり、地域の担う人材不足が解消できるよう努力してまいります。
9	P 1 9 3章の1 計画の基本方針	【基本方針について】19頁の基本方針に「・・・知の循環による生涯学習の推進」とあるが、29頁以降の記述を読むと「生涯学習による（・・・）知の循環の推進」とする方が適切であろう。こちらの方が教育基本法第3条後段の趣旨にもよく合致する。	素案における文章や語句については、適切な表現と認識しており、指摘の点については、ご意見として承ります。
10	P 2 7 4章の1 情報発信の推進・相談体制の整備	発信方法や発信内容の充実について、具体的な事業例が市HP、公式LINEの活用とありますが、他にも積極的に検討が必要と思います。担当が「担当各課」とありますが、中心になって推進を担当する課を決めるべきだと思います。	発信方法や発信内容については、更なる充実を図るため、市HP等の周知に加え、その他の周知についても検討してまいります。
11	P 3 6 4章の3 生涯学習関連施設等の整備	運動施設等の充実は、学校施設や上水公園のナイター設備設置が必須だと思います。担当を決めて、本腰を入れて取り組んでください。	ナイター設備設置については、貴重なご意見として承ります。なお、学校施設については、現在策定中の「小金井市学校施設長寿命化計画改定版（案）」において、「地域とともにある施設」を目指すべき姿のひとつとしており、地域活動の拠点としての学校施設整備に努めてまいります。また、上水公園運動施設については、小金井市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、使いやすく安全な施設として適切に管理するとともに施設の改善を図ります。

1 2	P 3 9 5 章の 1 計画の推進体制	<p>【市長部局による生涯学習について】39頁で「庁内の連携を強化」と謳いながら、教育委員会サイドの事情にしか言及していない箇所がある。計画の立案者は前回の第4次計画では「教育委員会」であった（表紙参照）が、これを今回「小金井市」に改める（今回素案表紙）のであれば、市長部局の事情も併記すべきでしょう。一例は6頁の施設である。後ろのページで市長部局の管理している集会施設や文化交流センターなどに触れているのだから、それらも「小金井市の生涯学習を取り巻く現状」として記載が必要でしょう。同様なその他の事例もあるので、パブコメに頼らず素案検討者間でよく見直してください。</p>	<p>本計画の策定主体は、小金井市教育委員会のため、表紙もそのように修正します。また、市長部局との連携については、引き続き総合教育会議等での意見交換を始め、あらゆる形で協働・連携し、生涯学習の推進に努めてまいります。</p>
-----	----------------------------	---	--

※ 提出された意見は、原則として全文を掲載します。